



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院 広報誌

PUBLIC
RELATIONS
MAGAZINE

Vol.232

2024年夏号 8▶10

すこやか

SAPPORO HIGASHI TOKUSHUKAI HOSPITAL

INDEX

広報室コラム

認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して
「世界アルツハイマーデー」

医療TOPICS

- つなげる地域の輪-北18条 つじ内科・消化器内科-
- 私たちのお仕事紹介 / 3.徳洲会グループ施設からのお便り-札幌外科記念病院-

Focus

消化器内科外来のご紹介

健康運動

認知症の早期発見・早期予防のすすめ

健康レシピ

夏野菜和えそうめん

当院の基本理念

- 生命を安心して預けられる病院
- 健康と生活を守る病院

当院の基本方針

- 「年中無休・24時間オープン」で、救急医療を提供します。
- 病気の治療だけでなく、健康増進と病気予防を推進します。
- 安全管理の徹底に努め、安心できる医療の提供を目指します。
- 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。



禁煙
NO Smoking

当院は健康増進法第25条に基づき、
「館内・敷地内全面禁煙」です。ご協力をお願いいたします。

TAKE
FREE

ご自由にお持ち
ください

1994年、国際アルツハイマー病協会(ADI)は世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症の啓蒙を実施しています。今号は当院で行っている取り組みとご家庭でのケアへのヒントをご紹介します。

院内デイケア「ウタリ」



認知症の方にみられる抑うつや不安、徘徊、幻視、暴力、せん妄などの精神症状・行動症状(BPSD)により、落ち着いた入院生活を送ることが難しい方や日中の活動性を上げたい入院患者さまを対象に、病床を離れる時間の確保、症状の軽減や活動機会の提供を目的に2021年7月からスタートしました。

コロナ禍で休止期間もありましたが、現在は認知症看護認定看護師や研修を受けた介護福祉士、作業療法士等の認知症ケアサポートチームによって週に1度「ウタリ」を開催しています。

認知刺激などの認知機能に働きかける非薬物療法や運動療法は、認知症の認知機能障害に対する効果があり、運動療法は日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作の改善に、音楽療法はBPSDに対する効果がある可能性がある(認知症疾患診療ガイドライン2017より)ことから、各療法を取り入れたスケジュールを組んでいます。

「ウタリ」の流れ

11:00 集合+自己紹介、飲み物の提供



11:20 認知刺激療法～カラオケ(季節の歌や懐かしの童謡・歌謡曲)や制作(カレンダー作り、季節を感じられる物など)



12:00 食事、口腔ケア



13:00 休憩、午睡



14:00 フリータイム～ラジオ体操、折り紙、編み物、塗り絵、将棋、オセロ、YouTubeで時代劇や歌の鑑賞、風船バレーなど、おやつと飲み物の提供

15:00 解散



担当者より

デイケアを通して、編み物に取り組むことで落ち着いて過ごせた患者さまや、リハビリでお楽しみ程度にしか経口摂取できなかったのに、デイケアでおやつと飲み物を摂取したことをきっかけにその後、お食事を全量完食できるまでになり施設退院された患者さまがいらっしゃいました。

携わる職員も患者さまの普段とは異なる様子に心を動かされ、ケアへのやりがいを一層感じています。今後もデイケアを継続させ、より良い療養環境を整えられるよう力を入れていきたいです。



ご家族のケアへのヒント

精神症状・行動症状(BPSD)は認知症を伴う各種症状のうち、認知症の進行とともに変化します。また、ケアをする方が最も苦慮する症状と言われています。今回は、近年社会問題になっている「徘徊」について、認知症看護認定看護師の奥村さんに聞きました。

アルツハイマー型認知症の患者さまは他の認知症の方よりも徘徊リスクが高いといわれています。

徘徊は、不安、視空間認知(図形を把握したり、立体を認識する能力)の障害や記憶障害が主な要因で起ります。

「徘徊」を辞書で調べると、「目的もなく歩き回ること」とあります。しかし、認知症の方にとって必ずしも目的なく歩き回っている訳ではないとされています。

例えば、何らかの原因で不安が強くなり「(昔過ごした懐かしい)家に帰りたい」「(安心するために)家族に会いたい」など、その人にとっては大切な目的があり歩き出したとします。けれど、「自分の記憶の中の風景と異なっている」、視空間認知障害や記憶障害によって「元来た道が分からぬ」など、結果的に徘徊になってしまうこともあります。

徘徊の対策としては「原因となる不安を解消すること」「いつも身につける靴や鞄などにGPSを取り付け、居場所を把握できるようにすること」「近隣住民で協力し認知症の人が歩いていたら声をかける・見守る」などが考えられます。

実際に私が対応した患者さまでも「家に帰るんだ」と落ち着かず病院内を歩く方がいました。玄関に到着したところで椅子に座っていただき、しばらく昔話をしていると安心していただけたのか「帰ろうか」と立ち上がって病室に戻られました。

いずれのBPSDについても必ず原因があると言われています。認知症の方の話をじっくり聞いてみると、何が理由なのかを知り、その原因にアプローチして対処することが必要です。認知症の方への対応で困ったら、専門家の力を借りることも考え、頑張りすぎないようにしましょう。



当院では「認知症」についての医療講演を毎月行っております。お気軽にご参加ください。

講演スケジュールについてはホームページや院内配布物にてご確認ください。

適度な運動や栄養バランスの管理は認知機能低下および認知症のリスクを下げる要因の一つといわれています。巻末の「健康運動」にて認知症の早期発見、早期予防についてご紹介しています。

また、「健康レシピ」にて栄養バランスを考えたレシピを紹介しています。

合わせてご覧ください!





医療 TOPICS

地域連携施設のご紹介

つなげる地域の輪



当院では地域の医療機関および介護・福祉施設と連携し、退院後も適切な医療・福祉サービスを受けられるよう地域との連携構築に取り組んでいます。



北18条 つじ内科・消化器内科

N18 Tsuji's Clinic
Internal Medicine & Gastroenterology

「患者さまの目線に立った温かいクリニック」を目指して参ります。

当院は専門の消化器疾患はもとより高血圧や高脂血症などの生活習慣病から風邪に至るまで幅広い病気に対応し、地域の皆さまの「かかりつけ医」としての役割を担いたいと考えています。

今年の4月で開院10周年を迎えたが、引き続き地域に根ざした医療をご提供できるよう精進いたします。どの診療科を受診すれば良いか分からない症状でお困りの場合でも、お気軽にご相談頂ければと思います。

当院の特徴の一つとして、消化器内科医の妻との「2人体制」により、外来診療と各種検査(超音波検査、胃カメラ、大腸カメラなど)を同時に実施できることが挙げられます。

基本的に検査は予約制ですが、患者さまの要望に応じて柔軟に対応いたします。

また、大腸ポリープの日帰り内視鏡切除も行っています。



札幌徳洲会東病院との病診連携について

東徳洲会病院にはこれまで多くの患者さまをお願いしていますが、いつも迅速・丁寧にご対応を頂き大変助かっております。

北海道大学が比較的近いためか、当院には外国人からの患者さまが多く受診されます。できる限り対応するよう心がけておりますが、精査が必要あるいは専門外の疾患の場合、ご紹介する医療機関を探すのに苦慮することがあります。東徳洲会病院には通訳が常駐されている国際医療支援室があるので、ありがとうございます。

昨今のインバウンド需要の増加に伴い国際医療支援室の重要性は高まる一方だと思いますが、当院も少しでもお役に立てるよう努めていきたいと思います。



院長 辻 直樹
(つじ なおき)

院長プロフィール



所属学会・資格

- ・日本内科学会
- ・日本消化器病学会
- ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本消化器病学会専門医

診療のご案内

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:00	●	●	●			●

日曜祝日休診

※受付順に診察させていただきます。

※当院は15歳以下の子供の診療は行っておりません。



交通アクセス

TEL: 065-0018

北海道札幌市東区北18条東1丁目3-3
ともえビル1階
(駐車場12台ビル前にあります)

地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩7分
地下鉄東豊線「北13条東駅」より徒歩14分

TEL: 011-752-1801



医療 TOPICS

私たちのお仕事紹介

各部門・部署のお仕事をインタビュー形式で順番にご紹介します♪
今回は **化学療法担当薬剤師 佐藤 彩伽** さんです。



1.部署の仕事や役割の紹介

当院の薬剤部では、外来や入院患者さまの薬の調剤や情報提供だけではなく、救急部門を含む全病棟で薬剤師を常駐しており病棟での持参薬の管理や指導を行っています。また、注射薬の準備や薬剤によっては無菌室での調製、多職種での回診、学生の実習など様々な業務に取り組んでいます。

薬剤師としてチーム医療を通じて患者さまの薬物療法の有用性と安全性を確保することを目指し、日々努力しています。

2.あなたの主なお仕事を教えてください。

私は主に化学療法を担当しています。化学療法担当の薬剤師として、患者さまに適した抗がん剤の投与量であるか確認し、抗がん剤の調製を行います。

抗がん剤治療を開始する際には、抗がん剤の治療スケジュールや副作用とその対策、緊急時の連絡方法などを説明します。

外来化学療法センターでは薬剤師外来を実施しており、定期受診のときに診察の待ち時間を利用し、薬剤師から体調等の問診や薬に関する相談をおこなっています。事前に問診した内容は、医師が診察時に確認できるようフィードバックしております。



3.お仕事とプライベートはどのように両立されていますか？

薬剤部の上司や同僚と一緒に飲み会やBBQなどを楽しんで関係をより深めています。

休日は趣味の御朱印巡りへ北海道内だけでなく全国の神社へ行き、リフレッシュしています。



4.仕事を通してうれしかったことや、やりがいを教えてください。

薬剤師としての知識や経験を活かして、患者さまの病状や薬物療法に関する問題を解決し、その結果、症状が軽減したという喜びを共有できることは非常にうれしいですし、やりがいを感じます。

5.最後に読者・患者さまへ一言お願いします。

薬は病気やけがを治療する効果がある一方、その効果を最大限に引き出すためには正しい使い方が必要です。薬の服用量や服用方法、副作用などについて、どんな些細なことでも薬剤師に相談してください。



— 頼れる職場のパートナー —

医療 TOPICS



グループ施設からのお便り

札幌外科記念病院



内科 消化器内科 外科 消化器外科 循環器内科 循環器外科
肛門科 整形外科 放射線科 リハビリテーション科



外科 副院長 前島 拓

今年の4月から、これまで長きにわたって当院を支えてくださいました外科の長内前院長にかわり、この度、新しく外科医として大島と前島が赴任し二人体制で外科が再スタートいたしました。大島医師は札幌医科大学を卒業後、札幌医科大学第一外科に所属し、約30年にわたり北海道内の様々な病院で外科医として勤務してまいりました。私は札幌東徳洲会病院で初期研修・後期研修を経て同院外科で15年間研鑽を積んでまいりました。

かつては数多くの手術を行い地域医療を支えてきた当院ですが、近年は手術件数も減少し、昨年半ば以降は全身麻酔の手術はほとんどなされていなかった状況です。現在、手術の再開に向けて、手術室の環境整備や人員の確保に努めており、関係各所のご協力をいただきながら、7月には再開の目途が立つと考えております。

現在の外科チーム二人は消化器外科医として、特に消化管を専門として診療を行ってまいりました。今後、まずは虫垂炎、鼠径ヘルニア、胆石、痔核などの良性疾患の手術から開始できればと考えております。また、さらに環境を充実させて胃癌、大腸癌などのいわゆる悪性疾患の手術まで施行する予定です。さらに、救急車をよばなければならぬような急性腹症といわれる緊急の状態にも24時間365日対応することを目指しております。

これまで当院の消化器内科診療を支えてくださってきた田中先生とも協力し、将来的には消化器センターとして、検査から治療までを一貫して当院で施行できる環境を作り、地域に信頼されるような診療を提供できるよう尽力してまいります。近隣の皆さんにおかれましては、腹痛、下痢、嘔吐、吐血、下血など、消化器にかかる症状でお困りの際はいつでも診察いたしますので、お気軽にご来院ください。

2024年6月より整形外科外来に新任医師

外来を担当します金城綾美です。

外傷整形と手外科を専門としておりますが、幅広く一般整形疾患に対応します。今後準備が進めば手術加療や外来でのリハビリ加療まで患者さまのニーズに合わせて治療を行っていきたいと考えています。

地域の皆さまが少しでも快適で痛みのない生活を送れるお手伝いができればと思います。

よろしくお願ひいたします。

外科・整形外科 診療のご案内

午前の部

受付時間 08:30~11:30

診療時間 09:00~12:00

午後の部

受付時間 13:00~16:30

診療時間 13:30~17:00

外科	月	火	水	木	金	土
午前の部	●	●	●	●	●	●
午後の部	●	●	●	●	●	

整形外科	月	火	水	木	金	土
午前の部			● ※1			
午後の部					● ※2	

※1…第3は除く、担当医 / 金城 ※2…第4は除く、担当医 / 佐藤

交通アクセス

TEL: 064-0923

札幌市中央区

南23条西15丁目

駐車場完備

(30台収容可能)

札幌市電(路面電車)

「電車事業所前」

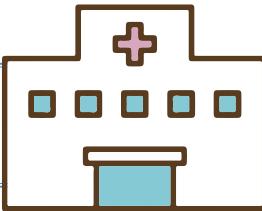
下車、徒歩約5分

TEL: 011-563-0151



Focus

消化器内科外来のご紹介



消化器内科とは

消化器内科は食べ物の通り道（上から順に食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）と、消化液を作ったり通り道となったりするところ（肝臓、脾臓、胆嚢、胆管）に起こる病気を見つけて検査し、治療することを仕事にしています。そのなかには、様々な場所のがんのほか、炎症や潰瘍、ポリープ、結石の治療など広い範囲の疾患を診ています。

治療は、薬による治療の他に、内視鏡（胃カメラや大腸カメラや胆脾カメラ）を用いた手術を得意としています。身体に傷をつけない手術で治る病気はたくさんあり、適格な診断のうえで最適な治療法をご提案いたします。

具体的には腹痛のほか、便秘や下痢、吐き気や嘔吐、おなかの張りなどの症状をお持ちの方、黄疸のある方、救急疾患では吐血や下血などの症状で来られる患者さまが私たちの対象です。

主な疾患

消化管疾患

食道、胃、腸の炎症（IBD以外）や感染症（ピロリ菌など）、
潰瘍、ポリープ、癌、静脈瘤、機能性疾患など

胆道疾患

胆石、胆囊炎、胆管炎、胆囊癌、胆管癌など

脾疾患

脾炎、脾石、脾囊胞性疾患、脾腫瘍など

肝疾患

肝炎、脂肪肝、肝硬変、肝腫瘍など



総長 太田 智之
(おおた ともゆき)

診療時間のご紹介

受付時間	診療開始	月	火	水	木	金	土
07:00~11:30	09:00	●	●	●	●	●	

※予約制

※紹介状をお持ちでも、事前予約がない場合は当日の診療ができない場合がございますのでご了承ください

※健診後の再検査（精密検査）の受診を希望される方は、
代表電話（011-722-1110）までご連絡ください



認知症の早期発見・早期予防のすすめ

65歳以上の認知症有病率は2025年には5人に一人、2040年には4人に一人になると予想されています。今回は認知症の早期発見、早期予防について紹介します!



MCIとは



軽度認知機能障害（MCI）は認知症の前段階にあたる症状です。

放っておくと認知症に進行しますが、適切な予防をすることで、健常な状態に戻る可能性があります。つまり、MCIの早期発見が重要となります。



早期発見するために 認知症に関する相談窓口としては以下が挙げられます。

地域包括支援センター

担当地域の65歳以上の方が利用可能。ケアマネジャー・保健師・社会福祉士などが対応。

認知症診断を受ける前の物忘れが気になる方への相談も可能。

認知症疾患医療センター・物忘れ外来を開設している医療機関・かかりつけ医



医師・看護師・作業療法士などが対応。

MRI検査や認知機能検査を行い、医師の診断が受けられる。



コグニサイズで認知症を予防しよう!



運動をすると、脳の血流改善や、うつ症状の緩和、睡眠の質向上などの効果が認められています。

コグニサイズとは、認知課題と運動課題を組み合わせた活動のことで、

運動習慣とコグニサイズを行うことで記憶力や脳萎縮への改善効果が示されています。



コグニサイズの例

- ①1から順に数字を数える。
- ②加えて3の倍数で手をたたく。
- ③そして足は数字を数えるのと一緒に足踏みをする。

これらを組み合わせてやってみましょう!!

※余裕がある方は、さらに3と5の倍数で手をたたいてやってみてください。

1.2



4.5



3

6...

当院で開催している医療公開講座でも、認知症に関わる講座を開催しています。

皆さまの参加をお待ちしております!

作業療法士 小林 明日香

【参考元】・内閣府「平成29年度版高齢社会白書」

・国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター「あたまとからだを元気にする MCIハンドブック」



夏野菜和えそうめん



★材料 (1人分)

- ・なす - 1本
- ・トマト - 1/2個
- ・スライスベーコン - 1枚
- ・きゅうり - 1/2本
- ・オリーブオイル - 大さじ1
- ・そうめん - 1束
- ・白だし - 大さじ2
- ・水 - 100cc
- ・おろし生姜 - お好みの量で
- ・白いりごま - 適宜



※写真はイメージです。

★作りかた

- きゅうりは薄切り、ベーコンは短冊切り、トマト、なすは幅1cmの角切りにする。
- フライパンにオリーブオイルを熱し、ベーコンを炒め、軽く火が通ったら①のなすを加えて炒める。
- 鍋にお湯を沸かし、そうめんを茹でる。湯切りをし、冷水でしめ、水気をきる。
- Aのつゆを混ぜ合わせておく。
- 器に③、残りの①、②を盛り、④をかける。
- おろし生姜と白いりごまをお好みの量で盛り付けたら完成。

夏バテ予防に!

夏野菜の効能



夏バテという言葉があるように夏は食欲が落ち、栄養が偏りやすい季節です。そんな夏にこそ、栄養を食べ物からしっかりと摂ることが大切です。積極的に夏野菜を摂取し、夏バテを予防しましょう。

今回紹介するなすやトマト、きゅうりといった夏野菜には水分やカリウムが多く含まれています。それら野菜を摂取することで、汗をかいて失ってしまった水分やカリウムを補うことができ、身体を冷やす効果もあると言われています。

また、夏野菜に多く含まれるカリウムには高血圧の原因となるナトリウム(塩分)を身体から排出する作用があるため、血圧を下げる効果もあります。(腎疾患でカリウム制限のある方はその指示に従ってください)

栄養も美味しさも満点の夏野菜を食べて、暑い夏も元気に過ごしてくださいね。

管理栄養士 山本 優芽

当院の専門外来

予約制 不整脈外来

【毎週月曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷 友之
【毎月第1.3.5水曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/谷 友之

予約制 いびき・無呼吸外来

【毎週月曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/後平 泰信
【毎週土曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/後平 泰信

予約制 弁膜症外来

【毎週月曜日】	受付/14:00~16:00	診察/14:00~	担当医/棒田 浩基
【毎週水曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/山崎 和正

予約制 補聴器外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/外来担当医
---------	----------------	-----------	-----------

鼠径ヘルニア外来

【毎週水曜日】	受付/07:00~11:30	診察/09:00~	担当医/深堀 晋
---------	----------------	-----------	----------

予約制 肝臓外来

【毎週金曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:00~	担当医/萩原 正弘
---------	----------------	-----------	-----------

予約制 音声外来

【毎週火・金曜日】	受付/13:00~15:30	診察/13:30~	担当医/國部 勇
-----------	----------------	-----------	----------

予約制 卷き爪外来(保険外診療)

【毎週木曜日】	受付/13:30~15:00	診察/14:00~	担当医/大沼 真廣
---------	----------------	-----------	-----------

予約制 脳血管内治療外来

【毎週火曜日】	受付/13:00~15:00	診察/13:00~	担当医/黒岩 輝壮
---------	----------------	-----------	-----------

外来診療表

内科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	●	●	※	●	●

※ 予約患者のみ

循環器内科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	●
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●	●	●	●	●

消化器内科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	※	※	※	※	※

※ 予約患者のみ

炎症性腸疾患センター(IBDセンター)

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	●
受付/12:00~15:00	診療/13:00~	●	●	●	●	●

	月	火	水	木	金	土
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●				

▲ 肺がん・肺腫瘍専門

※ 予約患者のみ

呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土
受付/12:30~15:30	診療/13:00~	●		●		

小児科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	●

▲ 第1・第3・第5のみ

外科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	※	●	●	●	●

	月	火	水	木	金	土
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●	●	●	●	●

※ 予約患者のみ

乳腺外科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~		●	●	●	▲

	月	火	水	木	金	土
受付/13:00~15:30	診療/13:00~	●				

▲ 第1・第3・第5のみ

形成外科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~	●	●	●	●	●

	月	火	水	木	金	土
受付/16:00~19:00	診療/17:00~	●		●		

麻酔科

	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30	診療/09:00~		●		●	

※ 都合により診療時間・担当医の変更や休診となる場合がございます。ご了承ください。

※ 健康診断・人間ドックにつきましては、「完全予約制」をとっております。お電話にてお問い合わせください。

札幌東徳洲会病院



JCIとは、患者さまの安全性の担保、高品質な医療の提供、院内に継続した改善活動が行われる仕組みを有すかを評価する認証機関です。世界で最も厳しい基準をもつ医療施設評価機構とされており、3年毎に行われる審査はその都度内容が厳しくなります。当院は、自分達の視点だけで病院運営を評価するだけではなく、世界で最も厳しい基準を持つ認証機構の評価を受ける事により、患者さまやご家族の方々へ、安心、安全で質の高い最善の医療が提供できることを今後も目指してまいります。

※ JCIホームページ: ja.jointcommissioninternational.org

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1

Tel.011-722-1110 (代表)

ACCESS



地下鉄



地下鉄
+ 中央バス



自家用車
(高速道路)



LINE友だち募集!

札幌東徳洲会病院の最新情報を配信中!
友だち登録は右のQRコードから♪ >>>



国際医療施設認証(JCI)

日本医療機能評価



日本医療機能評価機構
認定第1647号

当院では、患者さまへ安全かつ高度な医療を提供するため、継続的に改善する取り組みの一環としてこの「病院機能評価」の認証を利用しています。病院機能評価とは日本の病院を対象に、組織全体運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学・専門的な見地から評価を行うツールで、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営から構成される評価項目を用いて評価され、一定の水準を満たした病院は認定病院となります。

* 日本病院機能評価機構ホームページ: jcghc.or.jp